

全国地理教育学会 第16回 地理教育基礎巡検（第2報）

テーマ：河岸段丘地形と人間社会との関係を観察・理解するための地理教育基礎巡検（その2）

－ 群馬県沼田市の河岸段丘地域をフィールドとして －

主旨：地理教育において「自然環境と人間生活との関わり」を考察することは重要なテーマである。自然環境の構成要素として「地形」は重要で、その種類も多いが、河岸段丘地形は中学・高等学校の地理教科書で必ず取り上げられている。しかし、河岸段丘の地形的特質と人間生活との関連性は、必ずしも十分理解されているとはいえない。また、地理担当教員の中にも自然地理分野の指導を苦手とする教員が多いともいわれる。そこで、実際の河岸段丘地形を体験・観察し、段丘地形とその関わりの中で地域理解を深め、地理プロパーでない先生方も授業に役立てられることを目指し、地理教育基礎巡検を実施する。すでに一昨年（2015年）、山梨県上野原市ではほぼ同様の基礎巡検を実施している。今回は北・西・南の三方を河岸段丘に囲まれ、より典型的な河岸段丘地形が観察でき、教科書等にも掲載頻度の高い沼田市の河岸段丘地域をフィールドとし、両者の比較・検討も含め、テーマ・主旨の理解を深めていく。なお、沼田市までの距離、交通費、現地事情を考慮し、往復とも東京発着の貸切バスを利用し、現地では徒歩とバスでの移動を併用する。

日程：2017年10月8日（日）8：20～19：00

時程：《8：20》西武池袋線練馬駅前集合 ⇒ 《8：30》練馬駅出発 ⇒ 《10：10》沼田駅前 ⇒ 《10：30～16：40》巡検（含.休憩・昼食・交流会）⇒ 《17：00》沼田発 ⇒ 19：00 西武池袋線練馬駅前 【現地参加の場合】10：20 沼田駅前集合 ⇒ 合流 ⇒ 16：50 沼田駅前解散

観察・考察のポイント：① 河岸段丘と交通路の変遷 ② 河岸段丘面における用水路の変遷 ③ 沼田市域の河岸段丘の自然地理的考察 ④ 河岸段丘と土地利用・都市環境の関連・変遷 ⑤ 沼田城の立地と河岸段丘・歴史的背景 ⑥ 河岸段丘地域の地形図の読図 ⑦ その他

巡検コース：沼田駅前 ⇒ 徒歩 ⇒ 滝坂（河岸段丘崖）⇒ 正覚寺（河岸段丘観察）⇒ 大手門 ⇒ 沼田城址公園（鐘楼・河岸段丘・三角点・休憩）⇒ 城堀川（用水路）⇒ 旧沼田貯蓄銀行 ⇒ バス乗車 ⇒ 昼食 ⇒ 雨乞山（1067.8m）山麓ビューポイント（河岸段丘観察）⇒ 昭和村側河岸段丘 ⇒ 沼田段丘崖湧水 ⇒ 利根軌道跡 ⇒ 沼田駅前

参加費：往復バス利用：6,000円 現地集合解散：(2,000円)（含.資料代、昼食は各自負担）

※東京・沼田間列車利用（新幹線〔自由席〕併用）の場合、交通費は10,120円です。

※参加人数が24～19人の場合、交通費個人負担が250～1,500円の範囲で増加します。

申込締切：2017年9月28日（木） 申込先：巡検委員会アドレス（e-mail:junken@jageoedu.jp）

案内：全国地理教育学会巡検委員会及び現地講師